A　数と計算

ア　10までの数の概念や表し方について分かり，数についての感覚をもつとともに，ものと数との関係に関心をもって関わることについての技能を身に付けるようにする。

イ　日常生活の事象について，ものの数に着目し，具体物や図などを用いながら数の数え方を考え，表現する力を養う。

ウ　数量に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。

B　図形

ア　身の回りのものの形に着目し，集めたり，分類したりすることを通して，図形の違いが分かるようにするための技能を身に付けるようにする。

イ　身の回りのものの形に関心をもち，分類したり，集めたりして，形の性質に気付く力を養う。

ウ　図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。

C　測定

ア　身の回りにある具体物の量の大きさに注目し，量の大きさの違いが分かるとともに，二つの量の大きさを比べることについての技能を身に付けるようにする。

イ　量に着目し，二つの量を比べる方法が分かり，一方を基準にして他方と比べる力を養う。

ウ　数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。

D　データの活用

ア　身の回りのものや身近な出来事のつながりに関心をもち，それを簡単な絵や記号などを用いた表やグラフで表したり，読み取ったりする方法についての技能を身に付けるようにする。

イ　身の回りのものや身近な出来事のつながりなどの共通の要素に着目し，簡単な表やグラフで表現する力を養う。

ウ　数量や図形に関心をもち，算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶ態度を養う。

(2) 内　容

A　数と計算

ア　10までの数の数え方や表し方，構成に関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 次のような知識及び技能を身に付けること。

㋐　ものとものとを対応させることによって，ものの個数を比べ，同等・多少が分かること。

㋑　ものの集まりと対応して，数詞が分かること。

㋒　ものの集まりや数詞と対応して数字が分かること。

㋓　個数を正しく数えたり書き表したりすること。

㋔　二つの数を比べて数の大小が分かること。

㋕　数の系列が分かり，順序や位置を表すのに数を用いること。

㋖　０の意味について分かること。

㋗　一つの数を二つの数に分けたり，二つの数を一つの数にまとめたりして表すこと。

㋘　具体的な事物を加えたり，減らしたりしながら，集合数を一つの数と他の数と関係付けてみること。

㋙　10の補数が分かること。

(ｲ) 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

㋐　数詞と数字，ものとの関係に着目し，数の数え方や数の大きさの比べ方，表し方について考え，それらを学習や生活で興味をもって生かすこと。

B　図形

ア　ものの分類に関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。

(ｱ) 次のような知識及び技能を身に付けること。

㋐　色や形，大きさに着目して分類すること。

㋑　身近なものを目的，用途及び機能に着目して分類すること。

(ｲ) 次のような思考力，判断力，表現力等を身に付けること。

㋐　ものを色や形，大きさ，目的，用途及び機能に着目し，共通点や相違点について考えて，分類する方法を日常生活で生かすこと。

イ　身の回りにあるものの形に関わる数学的活動を通して，次の事項を身に付けることができるよう指導する。